

週刊新社会

6月12日 2018年号外 野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月 600円 1部 164円 1部 150円 41円
http://www.sinsyakai.or.jp/
発行所：新社会党 E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-10 三辰工業ビル3F Tel. 03-6380-9960 Fax. 03-6380-9963

今週号本紙「政界メモ帳」
はおさなみ前議員が担当。
ご笑覧を

改選後初の議会は今日から・まず議長選 過剰なエアコン設備か 税の使い方が焦点

選挙後初の市議会、6月議会が12日に開会する。表1を見る通り自民（保守系無所属含む）、公明が議席数の61%を占め、国会構成に近い形となっている。国政に対する意見書が出されても可決する見込みは相変わらず薄い。両会派の幹事長が順送りでも変わったが、まずはお手並み拝見となる。

改選後初議会のため、議長選挙

等の議会人事がまず行われる。順当なら政清会の竹内美穂議長誕生となる。

そして注目の一つが元職と新人議員の一般質問だ。最初からうまくやれとは言わないが、まずは勉強してからと逃げるようでは期待できない。自分の信条や政策があるのか疑われてしまうのが関の山だ。

過剰設備のエアコンは税の無駄遣い

そしてもう一つが学校エアコン事業の適正性だ。小学校エアコン工事について、市は手続きに問題があったとしているが、それはガスエアコンと電気エアコンのコスト比較なしに設計してしまったという手続き論で、その後行ったコスト比較でガスエアコンの優位性があったので問題ないというものだ。

しかし、市民が問題視しているのは学校という短時間の運転ではガスエアコンのコスト優位性はないということと、設置機器能力が適正ではなく、過剰に過ぎ、税金の無駄遣いとなっているのではというもの。

一般質問での取り上げやオンブズマン、マスコミも問題を注視しており、今議会最大の焦点である。

表1 議会会派構成

政清会 12名	会長	竹内美穂	
	幹事長	平井正一	
	会計	中村裕介	木名瀬宣人
		木村欽一	濱田勇次
		邑樂 等	古橋敏夫
		山口克己	深津憲一
公明党 5名	代表	内田陽一	
	幹事長	吉岡美雪	
	会計	椿 博文	
		西村福也	中村あや子
民主連合 4名	代表	石原義雄	
	幹事長	小倉良夫	
	会計	小椋直樹 滝本恵一	
日本共産 党野田市 議団 3名	団長	星野幸治	
	幹事長	長 勝則	
	会計	織田真理	
市民ネットワ ーク 1名		小室美枝子	
新しい風	1名	栗原基起	
地域クラブ	1名	池田利秋	
無所属の会	1名	谷口早苗	

な法令違反がある場合、上告できるとされているが、それすらも入り口論であり、その後の理由書に法的不備があれば却下される。

この事件の高裁判決では上告受理の要件を満たしていないと思われるが、情報公開を受けなかった市民が野田市を被告として損害賠償裁判を起こしている。そのため高裁判決を確定させては不利との判断があろう。しかし、3ヵ月から半年程度で上告不受理、良くて上告棄却となる可能性が高い。

情報公開裁判で市敗訴・見苦しい上告

野田市は市が被告となって地裁、高裁と連敗した情報公開棄却取消訴訟で先月29日、最高裁に対して上告及び上告受理申立を行っていたことが分かった。

しかし、最高裁が上告受理の申立がされた事件を審査するかどう

かはその裁量に委ねられている。何せ最高裁は判事が15人だけで忙しい。上告されたものを全部審理するわけにはいかない。

憲法解釈の誤りなど憲法違反や法律上の訴訟手続の重大な違反、判決に影響を及ぼすことが明らか

国民主権を問うー「森友・加計学園疑惑」 安倍政権退陣させて当たり前前の社会を

安倍内閣の「森友・加計疑惑」、自衛隊の「日報隠し」をはじめ、安倍内閣のウソ、改ざん、隠ぺいが当たり前前の政治が常態化しています。こんな安倍内閣の腐った体質が社会全体に波及し、今やトップが責任をとらず、部下などに責任をなすりつける社会。庶民はこんな世の中に辟易^{へびえき}しています。社会を腐らせる安倍首相、麻生財務大臣の退陣を強く求めましょう。ウソに慣れたり、あきらめは安倍内閣の思う壺です。

「加計疑惑」問題では、愛媛県が5月21日に首相秘書官との交渉記録文書を参議院に提出しました。加計学園の獣医学部開設を巡る疑惑では、2015年2月に安倍首相は加計孝太郎理事長と面会した際、獣医学部新設に同感の意を表したと記録され、今治市長もこれを認めています。

さらに、加計学園理事長の加計孝太郎氏と安倍首相は2012年12月の第二次安倍政権発足以来「19回面会」（5月27日・東京新聞朝刊）する親密ぶりです。にもかかわらず、安倍首相は2017年1月に「獣医学部新設をはじめて知った」と答弁。

常識で判断すれば安倍首相アウト！

「森友疑惑」でも5月23日に膨大な交渉記録が国会に出されました。この交渉記録は当時の佐川理財局長が「廃棄し残っていない」とされる文書です。記録によれば、明らかに森友学園用地の取得に対し、安倍昭恵夫人の関与と安倍首相への忖度は明らかです。首相夫人付きの政府職員の谷査恵子氏が森友学園用地取得の優遇を理財局に打診したり、安倍昭恵夫人自体が学園側に「いい土地ですから、前に進めてください」と応援発言した記録があります。

これらの記録はこれまでの安倍首相や麻生財務大臣、当時の財務省前佐川理財局長の国会答弁と明らかに矛盾します。安倍首相の発

言に合わせ、閣僚や一部官僚が平気で公文書の改ざん、廃棄し、ウソの答弁、責任を問われると、当該自治体や一部職員の「伝聞」、恣意的な文書とし逃げようとしています。

安倍流体質横行は 日本を終わらせる

安倍内閣の政治の私物化と責任回避の体質は、今や社会全体に及ぼうとしています。防衛省では「廃棄済みで存在しない」とした南スーダンPKO（国連平和維持活動）派遣部隊の日報は2017年3月に「発見」されましたが、1年間これを隠し、発覚後は一部職員を処分し、防衛大臣も何ら責任



雨の中安倍政権退陣を迫る国会包
囲行動（10日、2万7千人結集）

当時の柳瀬唯夫首相秘書官は学園新設の数々の官邸面会を「知らぬ」「記憶にない」と逃げてきました。

をとっていません。ちなみに、福島原発事故の責任は当時の東京電力幹部は誰も責任をとっていません。このような風潮はさらに広がり、大手メーカーの「欠陥品隠し」や、議員や首長の「セクハラ・パワハラ」隠しと居直り、日大アメリカンフットボール事件をはじめ、大企業や各種団体の一部幹部の無責任、自己保身も決して無縁ではありません。

安倍首相や麻生財務大臣の責任追及と辞任は不可欠です。護憲・立憲野党と労働者、市民の連携を国会内外でさらに強めましょう。

（本部号外「こんにちば」から転載）